

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日 時	令和2年9月25日 自 15時00分 至 15時30分
場 所	第2庁舎2階南会議室
出席委員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐藤 郁子 委 員 植木 忠夫 委 員 齋藤 智子 委 員 岡田 秀樹
欠席委員	
会議録署名委員	岡田 秀樹 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 田中 真奈
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 学 校 教 育 課 長 神 保 英 士 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 総 務 企 画 課 長 補 佐 千 葉 暢 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（岡田秀樹委員）
3	会議録の承認
	（五十嵐教育長） 第9回定例教育委員会（令和2年8月27日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（五十嵐教育長） 委員の皆さん、今日は、午前中の明野小学校、午後からのウトナイ小学校と両校を視察いただき、ありがとうございました。2学期がスタートしてから、1か月が過ぎました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策により、運動会や水泳教室など毎年恒例の学校行事が中止となりましたが、各学校では新しい生活様式の中で、ミニ運動会や内容を工夫した創意あふれる代替行事を実施しています。各校長には、校長会議などを通じて、コロナ禍において感染症対策など学校運営に配慮が必要なことが多い中、一層の創意工夫により、充実した教育活動を展開してもらおうよう、お願いしております。
	それでは、先月27日の定例教育委員会以降の行事等について報告します。
	8月28日、胆振教育局において「働き方改革推進会議」など複数の会議が開催さ

れ、出席しております。「女性教職員活躍推進会議」では、胆振管内の女性管理職割合が4.9%と道内で最低と報告がありました。出席した女性管理職の代表者は「優秀な男性教員同様、優秀な女性教員も多いが、家事や介護などの夫婦間の分担で未だ女性の負担が多く、受験に二の足を踏んでいるのが現状」と話していました。私自身も含め、更なる意識改革と家庭での家事分担が求められる、他人事では済まされない話であると受け止めております。

9月3日から11日まで市議会定例会が行われ、24人の議員が一般質問に立ちました。9人の議員から教育関連の質問が12項目ありましたが、その中から1つ紹介します。「苫小牧東高校への理数科・英語科の設置」についてです。答弁では、道教委が策定する公立高等学校配置計画に反映するための手法を確認するとともに、学校現場の声や地元住民の意向を聞くことから進めていく旨、答えております。委員の皆さんのご意見もお聞かせいただきたいと思いますと思っております。

9月5日に、令和3年度の校長採用試験の筆記試験が行われました。面接試験は、11月に行われます。今年度末に定年退職となる校長は、胆振管内全体で21人、苫小牧市内で7人です。市内での校長試験の受験予定者は、24人と聞いております。本市の教育大綱に掲げる「未来の社会をつくるひとづくり」という基本理念を学校現場において実現するという強い志をもって、チャレンジしてもらいたいと思います。

最後に、来月から開始する2つの新たな事業について触れたいと思います。

1つ目は、市の総合戦略プランに位置付けされている、多子世帯給食費助成事業です。この事業は、3人目以降の小中学校の児童生徒を対象に、給食費を助成し、多子世帯の家庭支援を図るもので、本年度の対象者は、453名となっております。来年度からは、年間を通じての実施となります。

2つ目は、先日、新聞報道にもありましたが、外国語指導助手の幼稚園等への派遣事業で、10月9日の認定こども園かおり幼稚園を皮切りに行われます。今年度の教育行政執行方針の目玉事業ともいえるALTの増員計画は、コロナの影響で未だ先行きが不透明な状況ですが、この事業は来月からスタートします。就学前の児童が遊びな

どを通じて外国語に関心を持つ機会を作ることを目的とする本年度の新規事業で、保育所など41園に呼びかけ、8園から派遣の要請がありました。実施結果を検証の上、内容の充実とともに、実施する幼稚園等の拡大を図ってまいりたいと考えています。報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 「苫小牧市学校防災マニュアル」の一部改訂について

(教育部参事) - 「苫小牧市学校防災マニュアル」の一部改訂について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。

第2号 植苗小中学校の特別支援学級開設について

(学校教育課長) -植苗小中学校の特別支援学級開設について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。
第3号 小学校の通級による指導(言語)の指導体制について
(学校教育課長) -小学校の通級による指導(言語)の指導体制について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(植木委員) 現在、拠点校には担当教師が配置されています。今後、それぞれの学校で指導するということですが、拠点校にいた先生方については、該当する学校へ移るのではなく、拠点校にそのまま残るという押さえでよろしいでしょうか。例えば拠点校に通いたい子供がいた場合は、拠点校に通うことができ、拠点校から自校の特別支援学級に行く場合は、その学校の特別支援員が指導するということよろしいでしょうか。
(学校教育課長) その通りでございます。
(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。
(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 他にないようであれば、原案どおり決定いたします。
6 報告・協議
報告(1) 令和元年度苫小牧市学校給食会決算書について
(学校給食調理場長) -令和元年度苫小牧市学校給食会決算書について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
報告(2) 動産の取得について
(総務企画課長補佐) -動産の取得について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 私から確認ですが、中学校の西地区から配備されるスケジュール

となっておりますが、例えば中学校の西地区は配備後、すぐに年度中から使用できるというのでしょうか。

(総務企画課長補佐) 配備されて、慣れていただく期間もあるとは思いますが、機械そのものとしては、使用できる状態で配備しますので、順次、使用できるようになっております。

(五十嵐教育長) 令和3年度から一斉に使用するというのではなく、令和2年度中に配備されたところから順次、使うようになるということですね。

(総務企画課長補佐) そうです。

(五十嵐教育長) わかりました。他に、何かございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

報告(3) 教育委員会職員の人事異動に係る協議について

(総務企画課長補佐) -教育委員会職員の人事異動に係る協議について-

(五十嵐教育長) 報告第3号につきましては人事案件でございますので、秘密会とし、審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、秘密会と決定しました報告第3号について審議をいた

します。関係者以外は退席をお願いいたします。

(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、報告第3号につきましては、報告どおり終結したことを申し添えます。

7 その他

(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 閉会の前に、少し時間をいただきます。苫小牧市教育委員会委員、植木忠夫さんが10月2日をもって退任されます。植木委員におかれましては、2期8年間、苫小牧市教育委員会、ひいては苫小牧市の教育に対して、多大なご尽力をいただきました。心から敬意を表する次第です。植木委員の、長年にわたる教育現場での経験に裏打ちされた、深く鋭いご意見は、議案等の審議において、しばしば事務局案の再検討を迫られ、当委員会策定の計画の多くが、より骨太に、あるいはより精緻を極めるという形となって実を結びました。誠にありがとうございました。それではここで、植木委員から退任にあたって、ご挨拶を頂戴したいと思います。

(植木委員) 今、教育長から過分なお話をいただきましたが、任期8年間に渡りまして、苫小牧市教育委員会の皆様には大変お世話になりました。まずは、お礼を申し上げたいと思います。この8年間の思い返してみますと、13年前の教育基本法の改正に伴う、教育改革が矢継ぎ早に打ち出され、その対応を皆さんと一緒に考えたこと、

また、6年前、地方教育行政法が一部改正となり、新教育委員会が本市においては5年前からスタートしたこと、この二つのことが大変、私の思い出に残っております。

様々な経験をさせていただく中で、いくつか思い出に残ることがあるのですが、一つは、総合教育会議で教育大綱という本市のグランドデザインを皆さんと協議したことが大変、思い出に残っております。二つ目は、この8年間のなかで二つの新設校が苦小牧市として開校しましたが、残念なことに二つの学校が統廃合で閉校しました。特に、私が卒業した弥生中学校が閉校したことは、非常に残念で、私が在籍していた当時は約30学級あり、生徒が1,800人もいた学校が、閉校するということは、市の発展に伴う空洞化というのをしみじみ感じました。それから、私が職員として3年間携わった明德小学校も学校適正化ということで閉校となりました。新たに道立学校として生まれ変わるわけですけれども、これもまた、大変思い出深いことでした。さらに付け加えると、本市の耐震化ということで、この8月に苦小牧東小中学校が新しくなったこと、それから、私も勤めた緑小学校、北光小学校、啓北中学校も含めて新しくなったことは、大変、嬉しい出来事でした。これはやはり、予算を教育委員会の皆さんが勝ち取ってきたもので、非常に大きいことだなと思っています。そして、今年、実現はしてありませんがALTを6名から8名増員する予算化をしたということは、教育委員会史に残る画期的なことなのではないかと、私は常々思っておりまして、何とか早くALTが来て、本市の英語教育充実のために、頑張ってくださいなと思っています。三つ目ですが、新型コロナウイルスによって、考えられない長期休業が余儀なくされてしまいましたが、教育委員会と学校現場が何とか手をつないでスタートをして、今のところ順調に行われているというのは、大変嬉しいことで今後とも、いろいろな意味で、教育委員会の皆さんにはご尽力いただければなと考えております。

結びになりますが、子供たちにとっては学びを充実すること、いわゆる勉学をしつかりすることは、自分たちの明るい未来につながる扉を開くことではないかなと、私は常々考えておりますので、なんとか多様な教育を広げるための種を、どんどん苦小

牧市教育委員会としてまいっていたいただければなということをお願い申し上げて、
退任の言葉としたいと思います。８年間大変お世話になりました。ありがとうございました。
ました。

（五十嵐教育長） ありがとうございました。なお、９月定例市議会において、植
木委員の後任に、飲食業経営者で北海道高等学校PTA連合会副会長の高橋憲司さん
を任命する議案について、議会の同意を得ていることを申し添えます。

８ 委員会閉会の宣言（五十嵐教育長）・・・１５時３０分